



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「再生可能エネルギーによるエネルギー自給率」と「ぶりの養殖量」です。



再生可能エネルギーによるエネルギー自給率

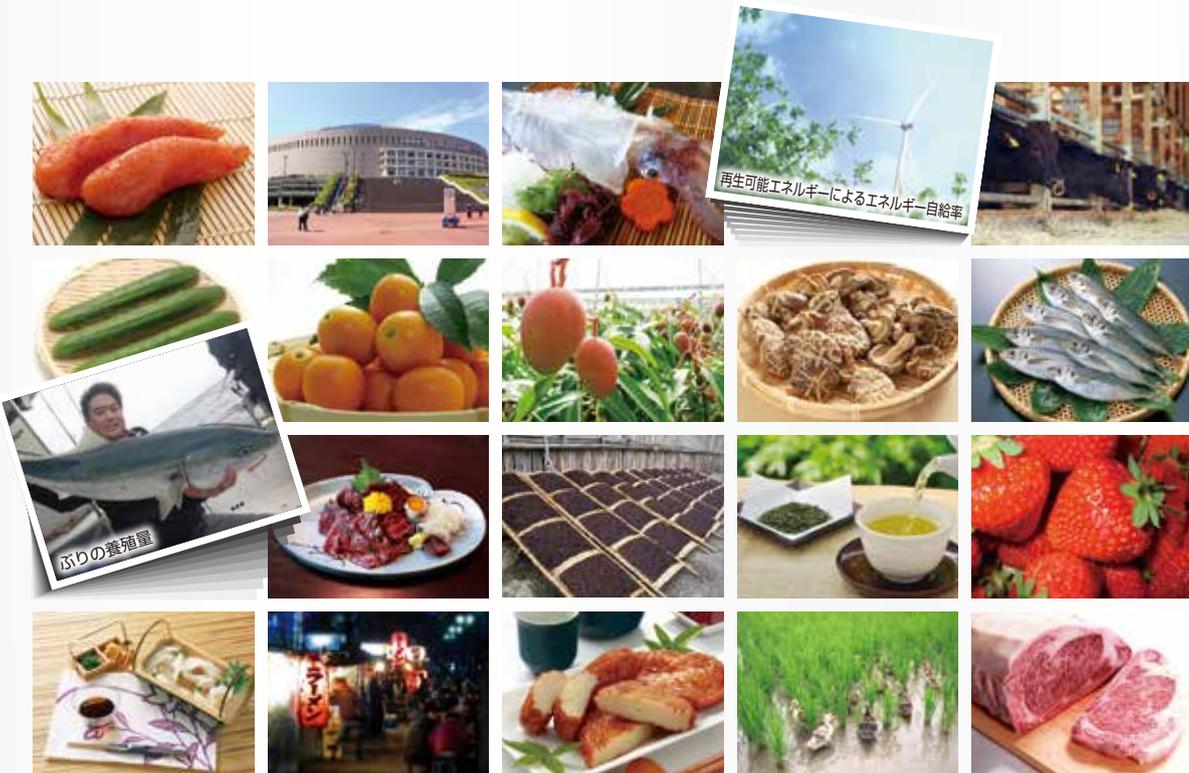
検索



ぶりを釣り上げたFFG行員

ぶりの養殖量

検索





再生可能エネルギーによるエネルギー自給率

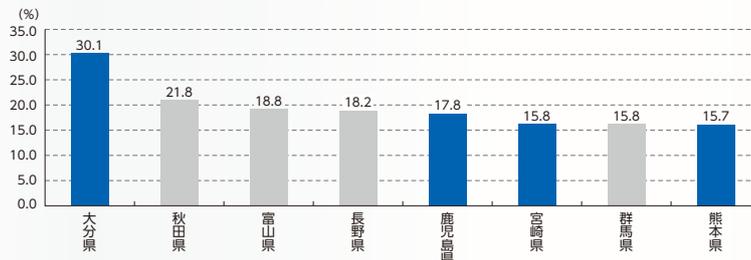
2012年7月の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(以下、FIT制度)」開始以降、国内の再生可能エネルギー供給量(※1)は太陽光発電を中心に大きく増加しています。都道府県単位で、再生可能エネルギーによるエネルギー自給率(域内のエネルギー需要(※2)全体に対する、再生可能エネルギー供給量の割合)を見てみると、大分県が全国47都道府県の中で第一位(30.1%)となっています。

大分県には九州最大級の太陽光発電所「大分ソーラーパワー(大分市)」を筆頭に多くの大規模太陽光発電所があるだけでなく、日本最大の地熱発電所「^{はちょうばる}八丁原発電所(九重町)」をはじめとした地熱発電所も多数立地しているほか、国内有数の木材生産地である日田市等には未利用木材を活用したバイオマス発電所もあります。

これまで再生可能エネルギーの導入を牽引してきたFIT制度は、今大きな転換点を迎えており、今後大規模太陽光発電の導入にはブレーキがかかることが予想されますが、地熱や森林資源などの自然資源に恵まれた九州では、太陽光以外の多様な再生可能エネルギーの導入が進むことが期待されます。

(※1 電力・熱の総量)(※2 「民生部門(家庭用・業務用)」と「農林水産業部門」を対象とし、1年間(年度)を単位に推計)

再生可能エネルギーによるエネルギー自給率(2015年3月末時点)



(出所:千葉大学倉坂研究室と認定NPO法人環境エネルギー政策研究所による資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



ぶりの養殖量

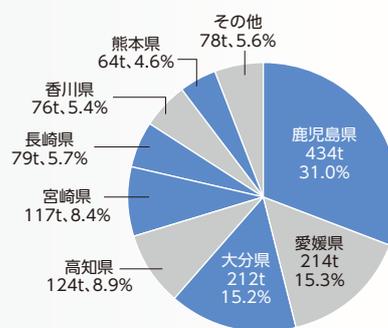
正月のおせち料理やお雑煮の食材として重宝される「ぶり」は、“寒ぶり”とも呼ばれ、冬に旬を迎えます。近年は養殖技術の発達により、1年を通して美味しいぶりを食すことができます。

そのぶりの養殖量を都道府県別に見てみると、鹿児島県が約3割を占め全国トップです。回遊魚であるぶりは東シナ海の暖かい海で生まれた後、暖流に乗って九州近海まで北上します。鹿児島県はぶりの稚魚(ぶりの養殖は採捕した稚魚を成魚になるまで育てている)をいち早く採ることのできる地理的な優位性があるほか、気候についてもぶりの養殖に適した温暖な環境が整っているため、ぶりの養殖が盛んに行われています。

鹿児島県の中でも「^{ぶりおう}鱒王」というブランドぶりを養殖し、全国各地そして海外にも輸出している全国有数のぶり養殖地、長島町では、昨年4月から「ぶり奨学金制度(※)」を開始するなど、ぶりを地方創生への取り組みにも活用しています。

(※)ぶり奨学金:出世魚かつ回遊魚であるぶりに因み、高校や大学卒業後に長島町に戻ってきた場合、奨学金の返済を行政及び地元事業者の寄付を原資に立ち上げられた基金から補填する制度。地元の漁協が、ぶりの販売数に応じて基金への寄付を行っている。

ぶりの養殖量(2015年)



(出所:農林水産省「平成27年漁業・養殖業生産統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

福岡県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じて持ち直しの動きがみられます。

個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動は、北米向けの乗用車輸出が好調だったほか、熊本地震による減産を挽回するための増産が行われたこと等により輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回りました。

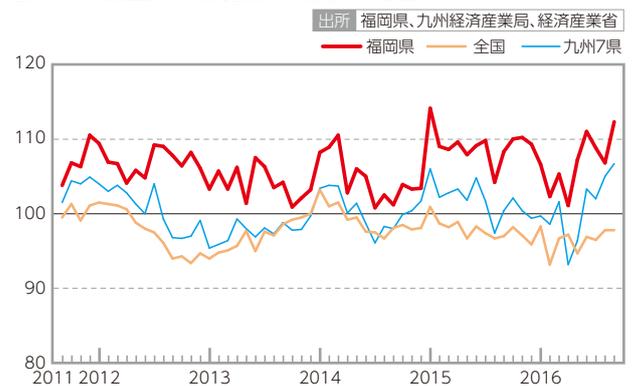
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は112.3と前月比5.1%上昇しました。

北米向けの乗用車輸出が好調だったほか、熊本地震による減産を挽回するための増産が行われたこと等により輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%減の542億円となりました。

気温の高い日が続いた影響により秋物衣料が振るわなかったほか、前年の地元球団優勝セールとの反動もあって主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





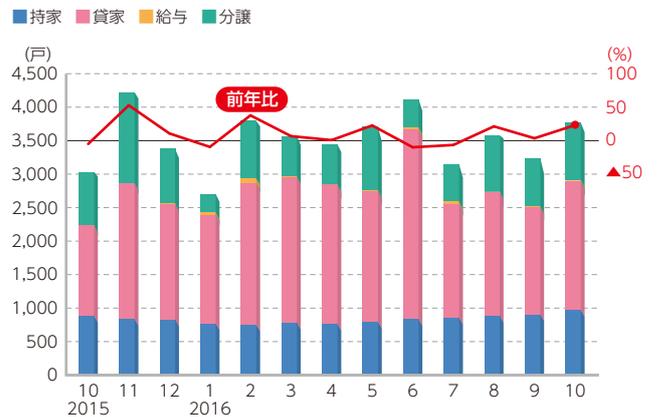
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比24.2%増の3,797戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を上回り、全体でも3カ月連続で前年を上回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



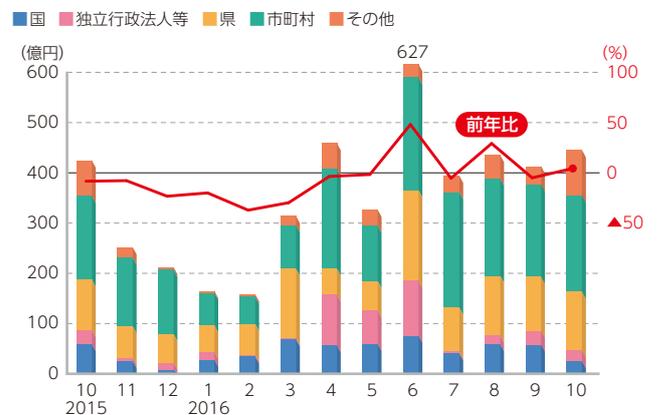
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を上回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.5%減の989件、金額が同4.5%増の451億円となりました。

発注者別では、小中学校建設工事の大型案件があった「市町村」や、病院建設工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を上回り、全体でも2カ月ぶりに前年を上回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 4カ月ぶりに前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%減の25件、負債総額は同0.6%増の約24億円となりました。

織物製造業で約5億円の倒産が発生したほか、鋼材販売加工業、土木工事業及び情報機器販売業でそれぞれ約3億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、持ち直しの動きがみられる

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、持ち直しの動きがみられます。

生産活動は、集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いており、個人消費についても、地震からの復興需要等を背景に持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設及び公共工事でも復興需要等を背景に前年を上回る状況が続いています。

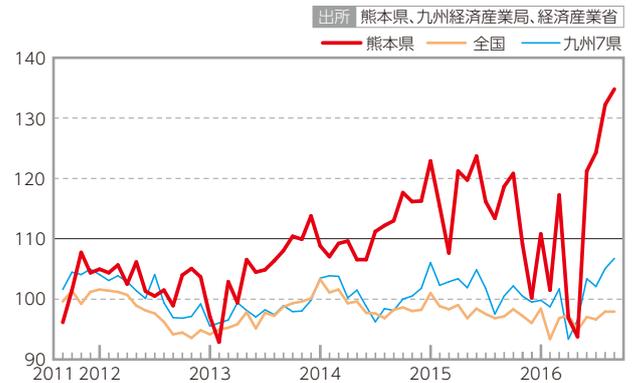
(諸限 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は135.0と前月比2.0%上昇しました。

主要業種では、集積回路が増産となった電子部品・デバイスや、特殊産業機械の生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)



2.個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.5%増の132億円となりました。

熊本地震からの復興需要等を背景に、主力の衣料品や飲食料品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



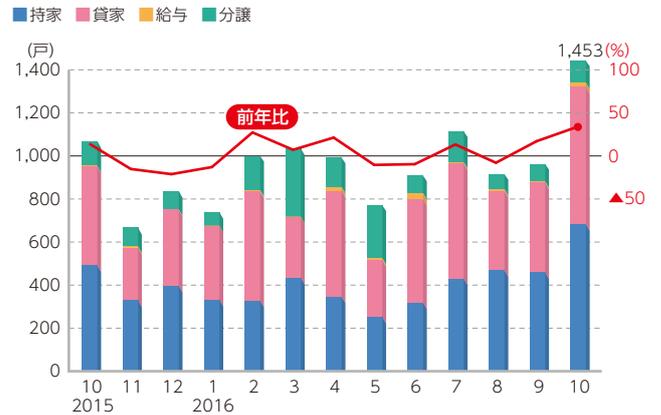
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比34.9%増の1,453戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも2カ月連続で前年を上回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 3カ月連続で前年を上回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.7%増の646件、金額が同10.4%増の223億円となりました。

庁舎建築工事の大型案件があった「国」や、高速道路震災復旧工事の大型案件があった「独立行政法人等」等が前年を上回り、全体でも3カ月連続で前年を上回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



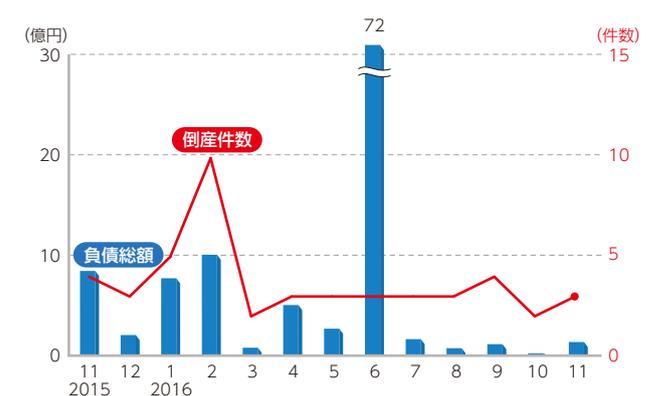
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は同83.9%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含んでいる

長崎県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに弱く、総じて弱含んでいます。

住宅建設及び公共工事は前年を上回ったものの、生産活動は生コンクリートが減産となった窯業・土石製品が低下する等、弱含んでおり、個人消費についても、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含んでいます。

(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 弱含んでいる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は72.7と前月比7.1%上昇しましたが、低い水準に止まっています。

主要業種では、シリコンウエハの生産が増加した電子部品・デバイスは上昇したものの、生コンクリートが減産となった窯業・土石製品が低下する等、生産は弱含んでいます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 弱含んでいる

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.6%減の86億円となりました。

気温の高い日が続いた影響により秋物衣料が振るわず、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





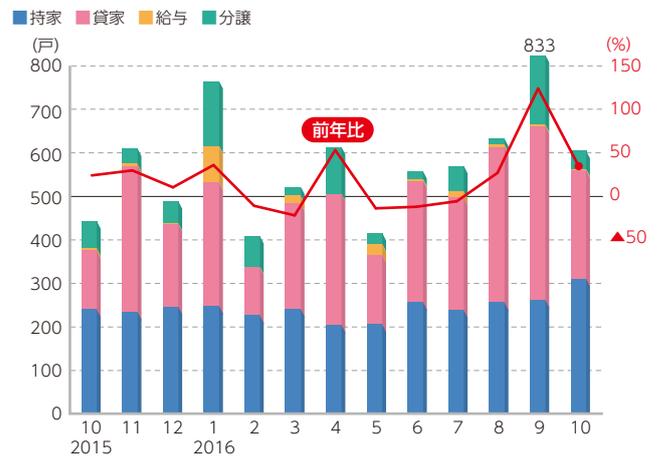
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比36.0%増の608戸となりました。

「給与」「分譲(マンション)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも3カ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2カ月連続で前年を上回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.6%減の415件、金額が同30.2%増の186億円となりました。

発注者別では、防災関連整備工事の大型案件があった「県」や、校舎改築工事があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも2カ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



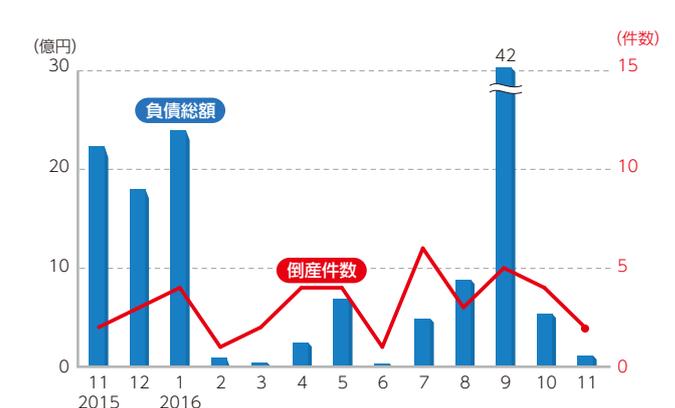
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の2件、負債総額は前年同月比94.8%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

公共工事は2ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は化学が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設も2ヵ月連続で前年を上回りました。

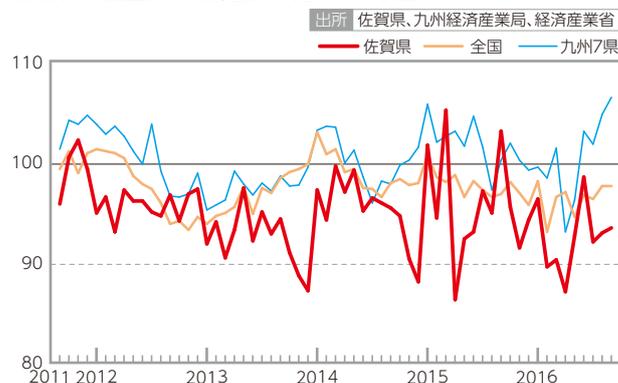
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.6と前月比0.5%上昇しました。

主要業種では、化学や輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

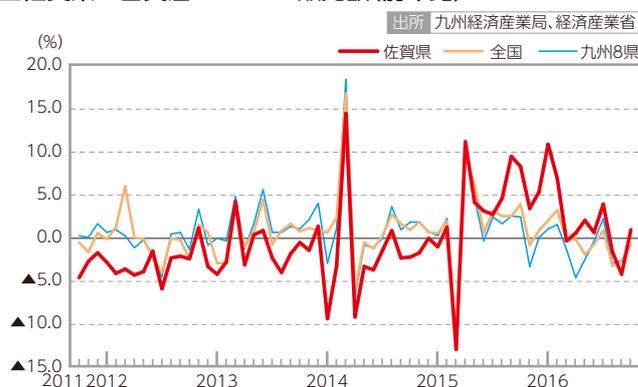


2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.0%増の55億円となりました。

気温の高い日が続いた影響により秋物衣料が振るわず、衣料品は前年を下回ったものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





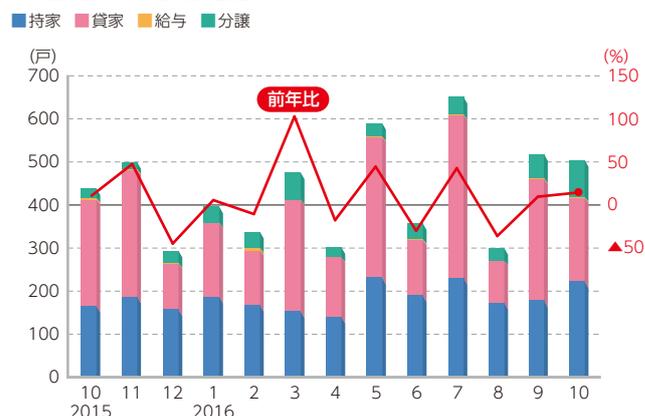
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.9%増の508戸となりました。

「貸家」「給与」が前年を下回ったものの、「持家」「分譲」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



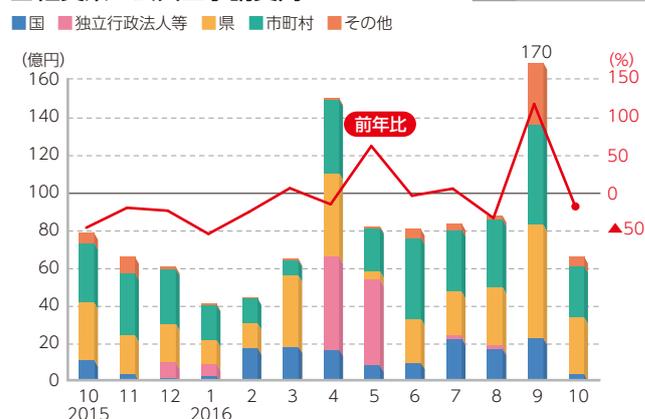
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.9%減の267件、金額が同16.0%減の66億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、「独立行政法人等」以外の全ての発注者で前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の5件、負債総額は約10億円となりました。

生コン製造業で約7億円の倒産が発生したほか、病院で約3億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、底堅く推移しています。また、住宅建設及び公共工事も前年を上回りました。

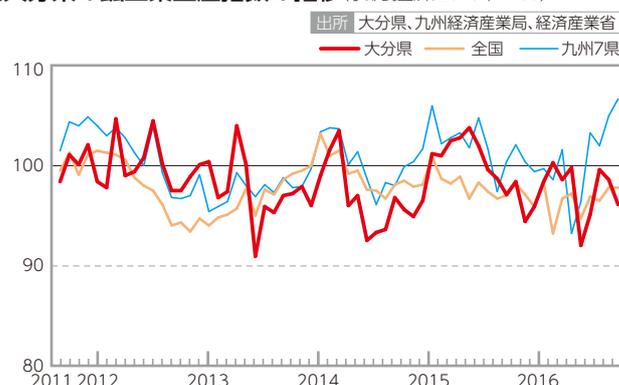
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.1と前月比2.5%低下しました。

主要業種では、鋼板の生産が減少した鉄鋼は低下したものの、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

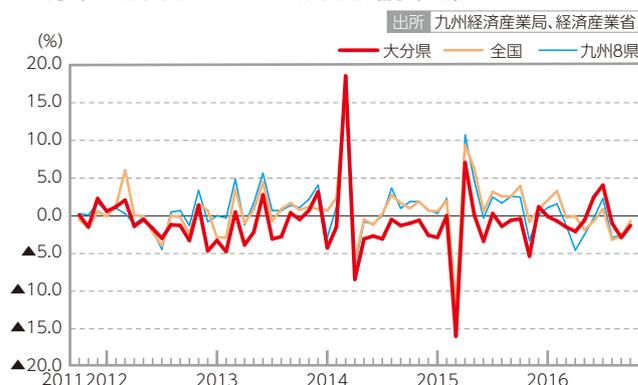


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%減の89億円となりました。

飲食料品は前年を上回ったものの、気温の高い日が続いた影響により秋物衣料が振るわず、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





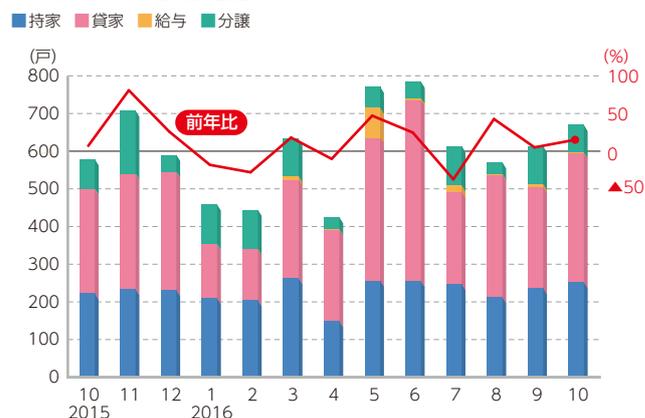
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.8%増の675戸となりました。

「分譲(マンション)」を除く全ての項目で前年を上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.6%増の497件、金額が同44.9%増の206億円となりました。

発注者別では、ダム建設工事の大型案件があった「国」と「その他公共的団体」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



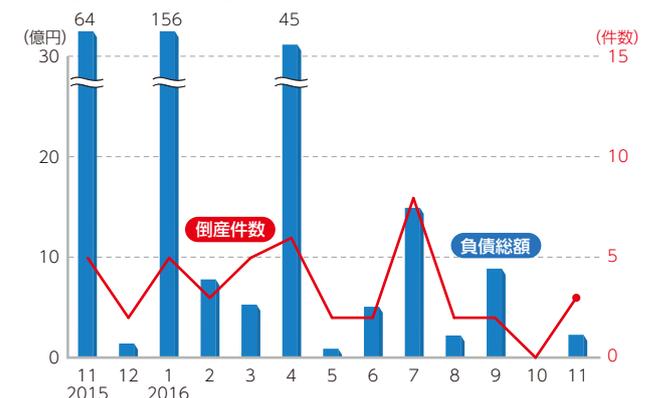
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%減の3件、負債総額は同96.4%減の約2億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、生産活動が底堅く推移しているものの、個人消費は弱い状況にある等、総じてみると弱含みの兆しがみられます。

生産活動は電子部品・デバイスが上昇する等、底堅く推移しており、住宅建設についても2カ月ぶりに前年を上回りました。一方で、個人消費は主力の衣料品が前年を下回る等、弱含んでおり、公共工事についても3カ月ぶりに前年を下回りました。

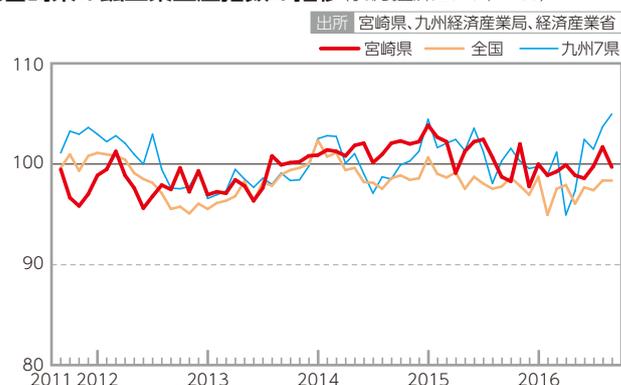
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 底堅く推移している

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.6と前月比2.6%低下しました。

主要業種では、食料品が低下したものの、電子部品・デバイスが上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100)

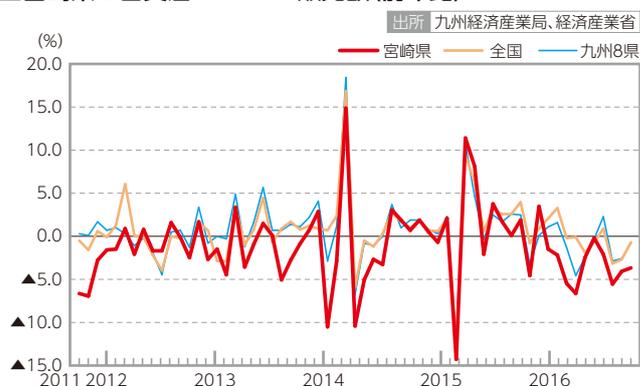


2. 個人消費 | 弱含んでいる

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.7%減の58億円となりました。

化粧品等に動きがみられたものの、気温の高い日が続いた影響により秋物衣料が振るわず、主力の衣料品が前年を大きく下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■ 宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





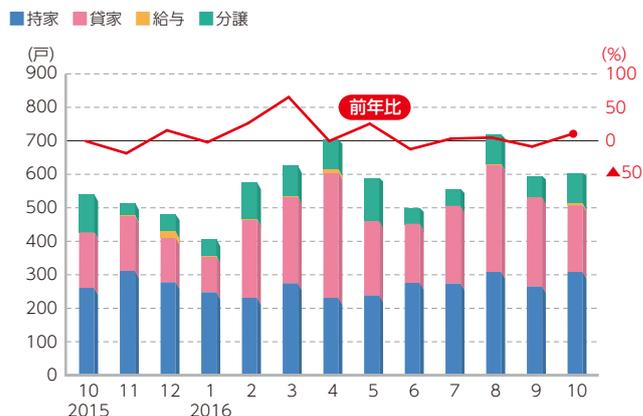
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.0%増の604戸となりました。

「分譲(マンション)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも2カ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



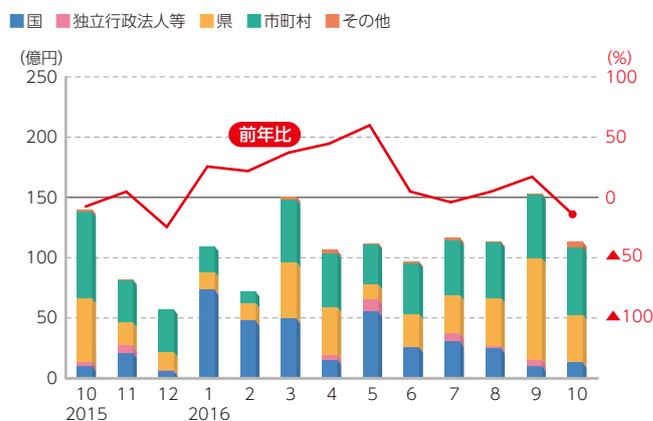
4.公共工事 | 3カ月ぶりに前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比22.3%減の445件、金額が同19.2%減の114億円となりました。

発注者別では、橋桁架設工事があった「国」等が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「県」「市町村」が前年を下回り、全体でも3カ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



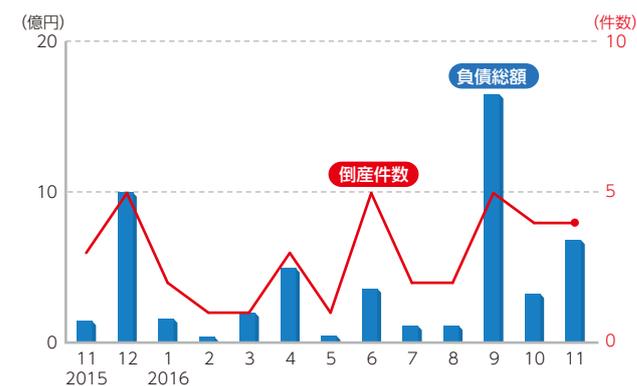
5.企業倒産 | 3カ月連続で前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の4件、負債総額は約7億円となりました。

土木工事業で約3億円の倒産が発生したほか、不動産賃貸業で約2億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

公共工事は3カ月ぶりに前年を下回ったほか、個人消費についても、主力の衣料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動は窯業・土石製品が上昇する等、持ち直しの動きがみられます。また、住宅建設も4カ月連続で前年を上回りました。

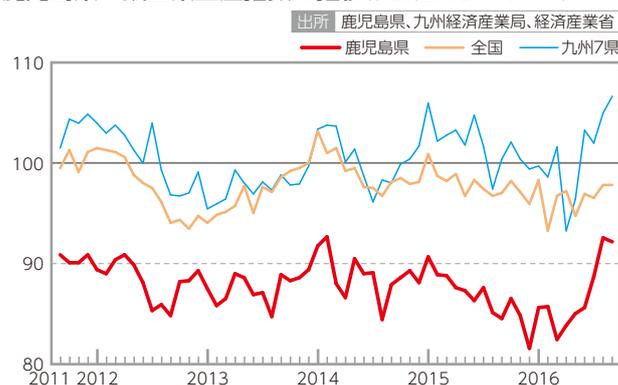
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.1と前月比0.4%低下しました。

主要業種では、電子部品・デバイスが低下したものの、窯業・土石製品が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

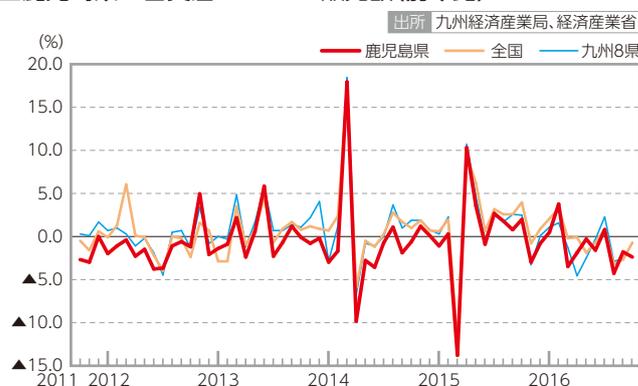


2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

10月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.4%減の127億円となりました。

気温の高い日が続いた影響により秋物衣料が振るわず、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



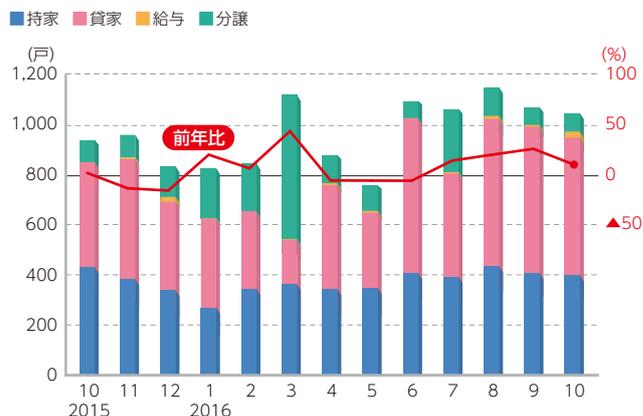
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.5%増の1,050戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも4カ月連続で前年を上回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



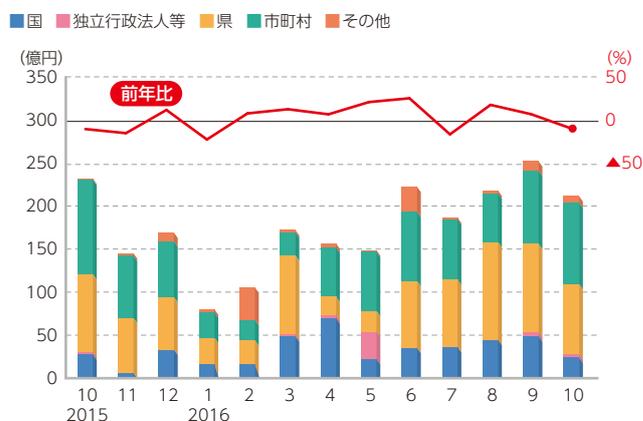
4.公共工事 | 3カ月ぶりに前年を下回る

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.0%減の752件、金額が同8.7%減の213億円となりました。

発注者別では、「その他公共的団体」等が前年を上回りましたが、「国」「県」「市町村」が前年を下回り、全体でも3カ月ぶりに前年を下回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%増の5件、負債総額は同56.5%減の約4億円となりました。

農業と建設業でそれぞれ約1億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

